

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ネットワーク実習 I		情報システム学科／2年	2023／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位（90時間）	必須	新川 弘哲
授 業 の 概 要				
ネットワークの基礎、OSI参照モデルの7階層モデル、TCP/IPのモデル、イーサネットの仕組み、ルータ・スイッチの基本設定コマンドを学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
ネットワークの基礎を身につけ、OSI参照モデルの7階層の概念と、イーサネットの仕組みについて理解する。ケーブリングから発生するトラブルに適切な対処ができる。レイヤ1・2・3で使用される機器の特徴を理解する。物理構成図、論理構成図からネットワーク構成が理解できる。ストレート/クロスケーブルの作成が行える。ルータ・スイッチの基本設定ができるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
無し				
時間外に必要な学修				
次の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テ ー マ	内 容		
1～3	1. 1章_今日のネットワーク	・ネットワークは私たちの生活に影響を与える・ネットワークコンポーネント・ネットワーク表現とトポロジ・一般的なネットワークの種類・インターネット接続・信頼性の高いネットワーク・ネットワークのトレンド・ネットワーク セキュリティ・ITプロフェッショナル		
4～6	2. 2章_基本的なスイッチとエンドデバイスの設定(1)	・Cisco IOS アクセス・IOS ナビゲーション・コマンドの構造		
7～9	3. 2章_基本的なスイッチとエンドデバイスの設定(2)	・デバイスの基本設定・構成を保存・ポートとアドレス・IP アドレスの設定・接続の確認		
10～12	4. 3章_プロトコルとモデル(1)	・ ルール・プロトコル・プロトコル スイット・ネットワーク標準化団体		
13～15	5. 3章_プロトコルとモデル(2)	・参照モデル・データのカプセル化・データ アクセス		
16～18	6. 4章_物理層(1)	・物理層の目的・物理層の特性・銅ケーブル		
19～21	7. 4章_物理層(2)	・UTPケーブル・光ファイバケーブル・無線メディア		
22～24	8. 5章_記数法	・2進法・16進法		
25～27	9. 6章_データリンク層(1)	・IEEE 802 LAN/MAN データリンクサブレイヤー・メディアへのアクセスの提供・データリンクレイヤ標準・理解の確認-データリンク層の目的・物理および論理トポロジ・WAN トポロジ・ポイントツーポイントWAN トポロジ・LAN トポロジ		
28～30	10. 6章_データリンク層(2)	・半二重および全二重通信・アクセス制御方法・競合ベースのアクセス：CSMA/CD・競合ベースアクセス-CSMA/CA・データ リンク フレーム・レイヤ2アドレス		
31～33	11. 7章_イーサネットスイッチング(1)	・イーサネットのカプセル化・データリンクサブレイヤー・MAC サブレイヤ・イーサネット フレームのフィールド・MAC アドレスおよび 16進数・イーサネットMACアドレス・フレーム処理・ユニキャストMAC アドレス・ブロードキャスト MAC アドレス・マルチキャスト MAC アドレス・MAC アドレステーブル		
34～36	12. 7章_イーサネットスイッチング(2)	・MAC アドレス テーブル・デフォルトゲートウェイへのフレームの送信・スイッチの速度と転送方法・カッスルスイッチング・メモリバッファリング・デュプレックスと速度の設定・Auto-MDIX		
37～39	13. 8章_ネットワーク層(1)	・ワークブックに用語を書き込む・シミュレータ、実機を使った実習・演習問題とテスト		

40～42	1 4. 8章_ネットワーク層(2)	・デフォルトゲートウェイ・ホストのデフォルトゲートウェイへのルート・ホストのルーティングテーブル・ルータのパケット転送決定・ルータのルーティングテーブル・スタティック ルーティング・ダイナミックルーティング		
43～45	1 5. 9章_アドレス解決	・ARP の機能・ARP 要求・ARP テーブルのエントリの削除・ARP テーブル・ARP スプーフィング・IPv6 ネイバー探索メッセージ・IPv6 ネイバー探索 - アドレス解決		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・Web教材: Introduction to Networks		ノート提出 課題 オンラインテスト	40.0% 30.0% 30.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、各回の内容に対応しているテキスト、配布資料の箇所を見ておくこと。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
Webアプリケーション演習Ⅰ		情報システム学科／2年	2023／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	高橋 忍
授 業 の 概 要				
PHPによるプログラミングを勉強する				
授業終了時の到達目標				
PHPによるプログラミングの習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ソフトウェア開発会社でシステム開発に5年間従事		
時間外に必要な学修				
授業内で理解できなかったところは、次回までに理解を進める事。				
回	テ ー マ		内 容	
1～2	PHPの基本構文		代入と出力	
3～4	PHPの基本構文		データ型	
5～6	PHPの基本構文		演算子	
7～8	PHPの基本構文		条件分岐	
9～10	PHPの基本構文		ループ処理	
11～12	PHPの基本構文		関数	
13～14	PHPの基本構文		require命令、include命令	
15～16	PHPの基本構文		オプション設定	
17～18	オブジェクト指向		オブジェクト指向	
19～20	オブジェクト指向		オブジェクト指向の実装	
21～22	オブジェクト指向		抽象クラスと継承	
23～24	オブジェクト指向		インタフェースと実装	
25～26	オブジェクト指向		トレイト	
27～28	オブジェクト指向		名前空間	
29～30	オブジェクト指向		例外処理	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
PHP本格入門上		出席率 課題・レポート 確認テスト	30.0% 30.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
システム開発計画		情報システム学科／2年	2023／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	尾迫 正朗
授 業 の 概 要				
システム開発ライフサイクルにおける要件定義からソフトウェア詳細設計までをSEという役割を授業の中で、ロールプレイを行うことで、実践的に学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
・ 要件定義の流れを理解することができる。 ・ 基本設計の流れを理解することができる。 ・ 詳細設計の流れを理解することができる。 ・ 顧客の視点に立ったUI設計を理解することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有り		尾迫正朗：約23年間、製造現場へのプロコン（制御用計算機）のシステム更新、メンテナンス業務に従事。元請け・下請け等、それぞれの立場に立ったSE、PGの役割、要件定義からテストまでの工程を学生に現場の目線で伝えたい。		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する。				
回	テ ー マ		内 容	
1～2	概要説明		・ 概要説明 ・ 元請け・下請け等、それぞれの立場に立ったSE、PGの役割について説明	
3～4	要件定義（１）		・ 画面	
5～6	要件定義（２）		・ 上位電文	
7～8	要件定義（３）		・ 下位電文	
9～10	基本設計（１）		・ 要件定義との繋がりと基本設計	
11～12	基本設計（２）		・ 要件定義との繋がりと基本設計 ・ 何をするシステムなのか	
13～14	基本設計（３）		・ 要件定義との繋がりと基本設計 ・ そのシステムには、どんな機能があるのか	
15～16	基本設計（４）		・ 要件定義との繋がりと基本設計 ・ そのシステムには、どんな機能があるのか ・ 画面一覧	
17～18	基本設計（５）		・ 要件定義との繋がりと基本設計 ・ そのシステムは、どんな機器で動くのか ・ 画面フォーマット作成	
19～20	基本設計（６）		・ 要件定義と基本設定との繋がり ・ テーブル一覧 ・ 画面フォーマット、タスク一覧を元に必要なテーブルの一覧を作成	
21～22	詳細設計（１）		・ 詳細設計を行うことで、プログラミングに必要な仕様を明確化する。 ・ 必要な情報を漏れなく記載し、仕様バグをできるだけ取り除く。 ・ 機能仕様書作成 ・ 各基本設計書を元にタスクごとのインターフェース・機能を設計する。	
23～24	詳細設計（２）		・ 詳細設計を行うことで、プログラミングに必要な仕様を明確化する。 ・ 必要な情報を漏れなく記載し、仕様バグをできるだけ取り除く。 ・ 画面仕様書作成 ・ 画面フォーマットを元に画面の入出力機能を設計する。	

25～26	詳細設計（３）	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細設計を行うことで、プログラミングに必要な仕様を明確化する。 ・必要な情報を漏れなく記載し、仕様バグをできるだけ取り除く。 ・テーブル仕様書作成 ・画面一覧、機能仕様書を元にテーブルに必要な項目を洗い出し作成する。 		
27～28	制作支援（１）	<ul style="list-style-type: none"> ・制作支援 ・ツール、データ、ダンプ 		
29～30	制作支援（２）	<ul style="list-style-type: none"> ・制作支援 ・ダンプ生成ツール ・テーブルを参照できるツールを自動生成 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
オリジナル資料（議事録フォーマット、基本設計書、詳細設計書、ファイル設計書）		出席 テスト１ テスト２ 課題	25.0% 20.0% 20.0% 35.0%	【準備学習】 本日の授業で与えた課題を次回の授業までに作成しておくこと。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
AIプログラミング言語		情報システム学科／2年	2023／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	若井 義憲
授 業 の 概 要				
Deep Learningに代表される AI (人工知能) プログラミングでよく利用される Pythonプログラミング言語の文法を学習します。 特に Javaなど他言語との違いに触れながら Pythonの特徴を深く理解することを目指します。				
授業終了時の到達目標				
C: 4種のデータ型を使い分けてプログラムを作成できる B: C + 内包表記、ジェネレータ式を使ってプログラムを作成できる A: B + 抽象クラス、特殊メソッド、デコレータ、属性を使ってプログラムを作成できる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	総合電機メーカーに20年以上勤務し、業務用サーバーの制御プログラム設計・開発等に従事。 開発プロジェクトリーダー経験あり。独立ソフト会社で販売管理ソフト開発、保守を経験。			
時間外に必要な学修				
【事前学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストの該当箇所を読んで予習しておくこと 【事後学習】 時間内に完了できなかった課題を完成させること				
回	テ ー マ	内 容		
1	Pythonプログラミングを始めよう	Chapter1 プログラミングを学ぶための準備 Chapter2 Pythonプログラミングを始めよう		
2	データ型	Chapter3 全ての基本になる文法を学ぶ section01 扱っている値の型を常に意識する		
3	変数、式、演算子	Chapter3 全ての基本になる文法を学ぶ section02 後で必要な値は変数に保存しておく／section03 数値を使って計算を行う／section04 文字列を切ったりつなげたり		
4	リスト	Chapter4 Pythonを支える4種のデータ構造 section01 複数のデータを格納するならリストを使う		
5	タプル	Chapter4 Pythonを支える4種のデータ構造 section02 データをタプルで手軽にまとめる		
6	集合	Chapter4 Pythonを支える4種のデータ構造 section03 値の有無を瞬時に判定するには集合を利用する		
7	辞書	Chapter4 Pythonを支える4種のデータ構造 section04 キーに対する値を素早く引きたいなら辞書を使う		
8	if文と条件式	Chapter5 プログラムの流れを変える制御構造 section01 条件分岐には if文を使う section02 式の中で条件分岐ができる条件式		
9	for文とイテラブル	Chapter5 プログラムの流れを変える制御構造 section03 大部分の繰り返しは for文で書くことができる		
10	while文と pass文	Chapter5 プログラムの流れを変える制御構造 section04 for文で書きにくい繰り返しは while文で書く section05 何もしない pass文		
11	制御構造のおさらい	Chapter5までの内容をおさらいします		
12	関数	Chapter6 よく使う処理を関数にまとめる		
13	クラスの使い方と作り方	Chapter7 Pythonのオブジェクト指向プログラミング section01 まずは既存のオブジェクトを活用する section02 独自のクラスを定義する		
14	派生と継承	Chapter7 Pythonのオブジェクト指向プログラミング section03 派生と継承を活用するとオブジェクト指向らしくなる		

回	テ ー マ	内 容		
15	例外処理	Chapter8 もっと上手にプログラムを書くための応用文法 section01 失敗からリカバリする例外処理		
16	内包表記の基本	Chapter8 もっと上手にプログラムを書くための応用文法 section02 簡潔なプログラムでデータ構造が作れる内包表記		
17	内包表記の応用	Chapter8 もっと上手にプログラムを書くための応用文法 section02 簡潔なプログラムでデータ構造が作れる内包表記		
18	ジェネレータ式	Chapter8 もっと上手にプログラムを書くための応用文法 section03 求められてから値を作るジェネレータ式		
19	ラムダ式	Chapter8 もっと上手にプログラムを書くための応用文法 section04 ラムダ式で関数型プログラミングを味わう		
20	代入式と assert文	Chapter8 もっと上手にプログラムを書くための応用文法 section05 式の中で変数に値を代入できる代入式 section06 デバッグやテストに役立つ assert文		
21	入出力、オブジェクトの生成・変換	Chapter9 有用で奥が深い組み込み関数 section01 入出力に使う関数 section02 オブジェクトの生成や変換に使う関数		
22	計算用関数、イテラブル用関数	Chapter9 有用で奥が深い組み込み関数 section03 計算に使う関数 section04 イテラブルに対して適用する関数		
23	データ型変換	Chapter9 有用で奥が深い組み込み関数 section05 整数を文字列に変換する関数 section06 オブジェクトを文字列にする関数		
24	オブジェクトやクラスについて調べる関数	Chapter9 有用で奥が深い組み込み関数 section07 オブジェクトやクラスについて調べる関数		
25	ファイルの読み書き	Chapter10 ライブラリを使うための基礎知識 Chapter11 ファイルの読み書き		
26	データベース操作	Chapter15 データベースとWebプログラミング section01 SQLを使ってデータベースを操作する		
27	Webプログラミング	Chapter15 データベースとWebプログラミング section02 Webアプリケーションを作成する		
28	オブジェクトの振る舞いと特殊メソッド	Chapter16 オブジェクトについてより深く知る section01 オブジェクトの振る舞いを理解する section02 特殊メソッドを定義して使いやすいクラスを作る		
29	デコレータと属性	Chapter16 オブジェクトについてより深く知る section03 クラスの定義に役立つ色々なデコレータ section04 オブジェクトを支える属性の仕組み		
30	期末試験	期末試験を実施します。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Python[完全]入門（SBクリエイティブ）		課題 期末試験	60.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
情報処理講座Ⅱ		情報システム学科／2年	2023／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	藤本 雅裕
授 業 の 概 要				
・ ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業。午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、30～35問程度、解いていきます。				
授業終了時の到達目標				
・ ITパスポート、基本情報技術者、応用情報技術者の合格。午前問題の学習を通じて、IT用語、コンピュータに仕組みについて理解を深める。				
実務経験有無		実務経験内容		
無し				
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テ ー マ		内 容	
1	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
2	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
3	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
4	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
5	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
6	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
7	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
8	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
9	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
10	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
11	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
12	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
13	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
14	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	
15	ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業		・ 午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。	

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
・応用情報技術者 パーフェクトラニング過去問題集、基本情報技術者パーフェクトラニング問題集、ITパスポート試験パーフェクトラニング問題集	期末試験 出席率	80.0% 20.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、 各回の内容に対応して いるテキスト、配布資 料の箇所を見ておくこ と。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
モバイルアプリケーションⅠ		情報システム学科／2年	2023／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	平松 謙治
授 業 の 概 要				
Android Studioの操作方法を身につけ、Androidアプリの開発手法を知る。				
授業終了時の到達目標				
Android Studioを使ってプロジェクトの作成から実行までの流れを理解する。インテントによる画面遷移について理解する。				
実務経験有無	実務経験内容			
有り	【実務経験】平松 謙治：SEとして35年の勤務経験 これまでの開発実践を活かし学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する。				
回	テ ー マ	内 容		
1	開発環境の準備（1）	・ Androidとは ・ Androidアプリケーション開発に必要なものについて ・ Kotlinとは		
2～4	開発環境の準備（2）	・ Androidの概要について理解を深めます。 ・ 最新バージョンの動向と特徴		
5～6	Android Studioの操作（3）	・ Androidアプリ開発プロセスについて理解を深めます。 ・ Android Studioの操作方法を理解する。 ・ プロジェクト		
7～8	プロジェクト	・ プロジェクトを作成する。 ・ Androidプロジェクトを実行する。 ・ AndroidStudio、画面、アクティビティ		
9～10	Kotlin（1）	・ なぜKotlinなのか ・ 制御構造を理解できる。		
11～13	Kotlin（2）	・ Kotlinの機能について理解を深めます。 ・ クラスとインタフェースを理解する。 ・ Kotlin、クラスとインタフェース、関数とラムダ式		
14～15	インテントによる画面遷移	・ インテントによる画面遷移について理解を深めます。 ・ インテントによる画面遷移を理解できる。 ・ インテント、レイアウト、共有プリファレンス		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
はじめてのAndroidプログラミング 第5版		報告書 出席点	80.0% 20.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、 各回の内容に対応して いるテキスト、配布資 料の箇所を見ておくこ と。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
アジャイル開発演習 I		情報システム学科／2年	2023／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（15時間）	必須	平松 謙治
授 業 の 概 要				
Java サブレットを用いたWebアプリケーションの開発手法を講義。				
授業終了時の到達目標				
Java サブレットを用いたWebアプリケーションの開発手法を身に付ける。卒業制作へ繋げる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有り	【実務経験】 平松 謙治：SEとして33年の勤務経験 これまでの開発実践を活かし学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テ ー マ	内 容		
1	イントロダクション	【学習内容】（詳細） ・サーバサイド javaの概要について理解を深めます。 ・開発環境の準備を行います。 <情報提示> ・実践におけるサブレット、JSPの活用事例等 <学習活動> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <フィードバックの方法> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <評価・まとめ> ・コードの実行結果を確認する。 【到達目標】 ・自身のマシンにJDK, Tomcat, MySQL, Eclipseをインストールし、開発できる環境を整える。 →サンプルコードで動作することを確認する ・静的なページと動的なページの違いを理解できる。JSPとサブレットの使い分ける場面を判断することができる。 【重要用語・アドバイス】 ・サーバサイド java, JSP, サブレット, Webアプリケーション ・JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。		
2	JSPの基本	【学習内容】（詳細） ・JSPの基本を理解します。 <情報提示> ・実践でにおけるJSP、サブレットの利用方法 <学習活動> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <フィードバックの方法> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <評価・まとめ> ・コードの実行結果を確認する。 【到達目標】 ・JSPページの構造、拡張子、基本構文について理解できる。 【重要用語・アドバイス】 ・ディレクティブ、アクションタグ ・ディレクティブとアクションタグの一覧と機能を確認する		

3～4	JSPの基本	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPの基本を理解します。 <p>＜情報提示＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p>＜学習活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p>＜フィードバックの方法＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p>＜評価・まとめ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPページの構造、基本構文について理解できる。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションタグ、スクリプティング要素、コメント
5	リクエスト情報	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リクエスト情報を理解します。 <p>＜情報提示＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p>＜学習活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p>＜フィードバックの方法＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p>＜評価・まとめ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信の確立から、クエリ情報の取得をするプログラムが作成できる。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送信フォーム、ポストデータ ・送信フォームとHTMLの関係 送信データ構造
6	リクエスト情報	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リクエスト情報を理解します。 <p>＜情報提示＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p>＜学習活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p>＜フィードバックの方法＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p>＜評価・まとめ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信の確立から、ヘッダ情報の取得、リクエストパスの取得をするプログラムが作成できる。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リクエストプログラムモデル ・クライアント実装 サーバサイド実装

7	データベース連携	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースの基本とデータベース管理ツールを利用したアクセスについて理解を深めます。 <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フィードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザ上からMySQLの管理ツールにアクセスし、利用できる。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MySQL, JDBC ・JavaからJDBCを使ってMySQLへアクセスする方法を取得する。
8	データベース連携	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JDBCを利用したデータベースアクセスについて理解を深めます。 <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フィードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JDBCを経由してデータベースにアクセスできる。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DAO, トランザクション ・DAOによるデータアクセスモデルを考える
9	JSTL(JSP Standard Tag Library)	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSTLについて理解を深めます。 <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フィードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSTLを利用して、ページを作成できる <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSTLセットアップ ・JSTL, 式言語, スコープ変数, 暗黙オブジェクト, 演算子, Coreタグライブラリ ・JSTLの基本機能について紹介

10	JSTL (JSP Standard Tag Library)	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSTLについて理解を深めます。 <p>＜情報提示＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p>＜学習活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p>＜フィードバックの方法＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p>＜評価・まとめ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSTLを利用して、ページを作成できる。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Databaseタグライブラリ, i18nタグライブラリ ・ タグライブラリの学習
11	サーブレット	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サーブレットについて理解を深めます。 <p>＜情報提示＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p>＜学習活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p>＜フィードバックの方法＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p>＜評価・まとめ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サーブレットを利用して、ページを作成できる。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ javaサーブレット, doGet, doPost ・ サーブレットの基本構造 ・ サーブレット用アノテーションの確認
12～13	サーブレット & JavaBeans	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サーブレットについて理解を深めます。 <p>＜情報提示＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p>＜学習活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p>＜フィードバックの方法＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p>＜評価・まとめ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サーブレットを利用して、ページを作成できる。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MVCモデル ・ サーブレットのライフサイクル、JavaBeans

14	JSP&サーブレットで利用可能なライブラリ	【学習内容】（詳細） ・外部ライブラリの活用について理解を深めます。 ＜情報提示＞ ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 ＜学習活動＞ ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 ＜フィードバックの方法＞ ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 ＜評価・まとめ＞ ・コードの実行結果を確認する。 【到達目標】 ・外部ライブラリを利用して、ページを作成できる。 【重要用語・アドバイス】 ・jarファイル, クラスローダー, 電子メール送信、Ajax, PDF		
15	総合演習	【学習内容】（詳細） ・今まで学んだことを利用した演習を行います。 ＜情報提示＞ ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 ＜学習活動＞ ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 ＜フィードバックの方法＞ ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 ＜評価・まとめ＞ ・コードの実行結果を確認する。 【到達目標】 ・提示された仕様のシステムを一人で作成することができる。 【重要用語・アドバイス】 ・warファイル, デプロイ ・アプリケーションを配布する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
スッキリわかるサーブレット&JSP入門 第2版 （インプレス）		出席点 課題	20.0% 80.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、 各回の内容に対応して いるテキスト、配布資 料の箇所を見ておくこ と。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
AIプログラミング演習		情報システム学科／2年	2023／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	新川 弘哲
授 業 の 概 要				
機械学習の全体像と基本的な用語、手法を学び、教師あり学習と教師なし学習のアルゴリズムを実際に動かしたなら、理解を深めていく。				
授業終了時の到達目標				
機械学習とは、どういう技術なのか機械学習プロジェクトを実施するための全体像を知る。 機械学習には、どのようなアルゴリズムがあるのかを把握する。				
実務経験有無	実務経験内容			
無し				
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する。				
回	テ ー マ	内 容		
1～2	0. 機械学習のPython基礎 1. 機械学習について知ろう	・ 機械学習のPython基礎 ・ 機械学習とは何かを知る。 ・ 機械学習が注目されている理由を知る。 ・ 機械学習と関連する技術 ・ データ収集・前処理について・機械学習の手法 ・ 機械学習のアルゴリズム ・ PoCについて・機械学習の精度 ・ 機械学習システムの運用		
3～4	2. 機械学習の開発環境を準備しよう	・ Pythonをインストール・仮想環境を作成する ・ Jupyter Notebookの使い方		
5～6	3. スクレイピングでデータを収集しよう	・ スクレイピングとは ・ スクレイピングに使用するライブラリ ・ Webページの取得・Webページのスクレイピング ・ 少し難しいスクレイピング ・ 複数のWebページからのデータ集め ・ スクレイピングを行う際の注意点		
7～8	4. 日本語の文章を生成しよう（1）	・ テキスト処理について ・ 形態素解析 ・ 自然言語処理で使われるモデルやライブラリ ・ マルコフ連鎖		
9～10	5. 日本語の文章を生成しよう（2）	・ 日本語のデータ ・ 辞書データ ・ 文章の自動生成 ・ 文書データの前処理 ・ 大量の文書データの処理		
11～12	6. 手書きの文字を認識しよう	・ Pythonの基本構文、関数、ライブラリの使い方を理解する。 ・ Jupyter Notebookにプログラムを入力して機械学習のアルゴリズムを実行してみる。		
13～14	7. 表形式のデータを前処理しよう	・ pandasでファイルの読み込み ・ pandasで表データから行を取り出す ・ DataFrameから列を取り出す・データの可視化		

回	テ ー マ	内 容		
15～16	8. データを予測する回帰分析を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・回帰分析について ・緯度から気温を予測する ・説明変数を追加する ・回帰分析のモデル ・回帰分析のモデルを比較する 		
17～18	9. 機械学習の次のステップ	<ul style="list-style-type: none"> ・機械学習をサポートするWebサイト ・機械学習のコミュニティ 		
19～20	10. 機械学習の体験	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルの準備と機械学習の実行 ・モデルの評価 ・モデルの保存 		
21～22	11. アヤメの判別（決定木）	<ul style="list-style-type: none"> ・アヤメの花を分類する ・データの前処理 ・モデルの作成と学習 ・モデルの評価 ・決定木の図の作成 		
23～24	12. アヤメの判別（k-means、ニューラルネットワーク）	<ul style="list-style-type: none"> ・アヤメの花を分類する ・データの前処理 ・モデルの作成と学習 ・モデルの評価 ・k-meansの仕組み ・ニューラルネットワークとは 		
25～26	13. 分類2：客船沈没事故での生存予測	<ul style="list-style-type: none"> ・客船沈没事故から生き残れるかを予測 ・線形単回帰分析の概要 ・線形重回帰分析の概要 ・モデルの評価 ・決定木における特徴量の考察 		
27～28	14. 住宅の平均価格の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅平均価格を予測する ・データの前処理 ・モデルの作成と学習 ・モデルの評価とチューニング 		
29～30	15. 機械学習の総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化関数と損失関数 ・中間層を追加したニューラルネットワーク ・行列による重みの表現 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
いちばんやさしいPython機械学習の教本（インプレス） スッキリわかるPythonによる機械学習入門（インプレス） オリジナル教材		出席点 課題	20.0% 80.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
情報処理講座Ⅲ		情報システム学科／2年	2023／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	21回	2単位（42時間）	必須	新川 弘哲
授 業 の 概 要				
・ 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業。午前の午後の過去問題のを中心に午前の問題の場合は、1時間につき25問程度、午後の問題の場合、1時間につき1～2問解いていきます。				
授業終了時の到達目標				
・ 基本情報技術者、応用情報技術者の合格。国家試験の学習を通じて、IT用語、コンピュータに仕組みについて理解を深める。				
実務経験有無	実務経験内容			
無し				
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テ ー マ	内 容		
1	・ 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・ 検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・ 午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
2	・ 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・ 検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・ 午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
3	・ 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・ 検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・ 午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
4	・ 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・ 検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・ 午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
5	・ 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・ 検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・ 午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
6	・ 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・ 検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・ 午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
7	・ 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・ 検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・ 午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		

8	・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
9	・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
10	・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
11	・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
12	・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
13	・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
14	・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
15～21	・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・応用情報技術者 パーフェクトレーニング過去問題集、基本情報技術者パーフェクトレーニング問題集・アイ・テック、TAC、ウイネット、インフォテックサーブの模試		出席点 模試試験	20.0% 80.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、 各回の内容に対応しているテキスト、配布資料の箇所を見ておくこと。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ネットワーク実習Ⅱ		情報システム学科／2年	2023／後期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位（90時間）	必須	新川 弘哲
授 業 の 概 要				
基本的なネットワークを理解するための基礎を築く、実践的なスキルと概念的なスキルの両方を学習します。シンプルな LAN を構築し、ルータおよびスイッチの基本的な設定を行い、IP アドレス計画を実装する実践力を養います。				
授業終了時の到達目標				
・ネットワークへの「階層型」アプローチを理解する。・OSI と TCP/IP の階層について詳しく調べ、それらの機能とサービスを理解する・さまざまなネットワーク デバイスおよびネットワーク アドレス計画をよく理解する。				
実務経験有無		実務経験内容		
無し				
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テ ー マ		内 容	
1～3	1. 10章_ルータの基本設定 (1)		・ルータの基本的な設定手順・基本的なルータの設定例・構文チェッカールータ初期設定の構成・インターフェイスの設定・ルータ インターフェイスの設定・インターフェイスの設定の確認	
4～6	2. 10章_ルータの基本設定 (2)		・設定検証コマンド・構文チェッカーインターフェイスの設定・ホストのデフォルトゲートウェイ・スイッチ上のデフォルトゲートウェイ・ルータをLANに接続する・デフォルトゲートウェイの問題のトラブルシューティング	
7～9	3. 11章_IPv4アドレッシング (1)		・ネットワークとホストの部分・サブネット マスク・プレフィックス長・ネットワークの決定:論理 AND・ビデオホストとブロードキャストアドレス・ネットワーク、ホスト、およびブロードキャスト アドレス・アクティビティ - ネットワークアドレスを決定するための 論理積・IPv4のユニキャスト、ブロードキャスト、マルチキャスト・ユニキャスト・ブロードキャスト・マルチキャスト・アクティビティ - ユニキャスト、マルチキャスト、およびブロードキャスト・パブリック IPv4 アドレスとプライベート IP アドレス、インターネットへの ルーティング・IPv4 アドレスの特殊使用・クラスフル アドレッシング・IP アドレスの割り当て	
10～12	4. 11章_IPv4アドレッシング (2)		・ブロードキャストドメインとセグメンテーション・大規模なブロードキャスト ドメインの問題・ネットワークをセグメント化する理由・IPv4 ネットワークのサブネット・スラッシュ16プレフィックスを持つサブネットの作成・効率的な IPv4 サブネット化・IPアドレスの節約・VLSM トポロジアドレスの割り当て・IPv4ネットワークアドレスの計画・デバイスアドレスの割り当て	
13～15	5. 12章_IPv6アドレッシング (1)		・IPv6 の必要性・IPv4 と IPv6 の共存・IPv6 アドレッシング形式・ルール 1 - 先頭のゼロを省略する・ルール 2-二重コロン・IPv6 アドレス表現・ユニキャスト、マルチキャスト、エニーキャスト・IPv6プレフィックス長・IPv6 ユニキャストアドレスのタイプ・ユニークローカルアドレスについて	
16～18	6. 12章_IPv6アドレッシング (2)		・ワークブックに用語を書き込む。・シミュレータ、実機を使った実習・演習問題とテスト	
19～21	7. 13章_ICMP		・ICMP メッセージ・ICMPv4 および ICMPv6 メッセージ・ホストの到達可能性・宛先またはサービス到達不能・時間超過・ICMPv6 メッセージ・ping- 接続性テスト・ループバックアドレスに ping を送信する・デフォルト ゲートウェイに対する ping の実・Traceroute - 経路のテスト・ICMP を使用してネットワーク接続性のテストと修正	
22～24	8. 14章_トランスポート層 (1)		・データの転送・トランスポート層の役割・TCP の概要・TCP を使用するアプリケーション・UDP の概要・UDP を使用するアプリケーション・ポート番号・複数の個別通信・TCP 通信プロセス・TCPコネクション確立 ・ワークブックに用語を書き込む。・シミュレータ、実機を使った実習・演習	
25～27	9. 14章_トランスポート層 (2)		・TCPスリーウェイハンドシェイクの分析・信頼性とフロー制御・TCP の信頼性 - データ損失と再送信・UDP通信・UDP サーバーのプロセスと要求 ・ワークブックに用語を書き込む。・シミュレータ、実機を使った実習・演習問題とテスト	

28～30	1 0. 15章_アプリケーション層 (1)	・アプリケーション層・プレゼンテーションおよびセッション層・TCP/IP アプリケーション層プロトコル・ピアツーピア・クライアント・サーバ モデル・ピアツーピア ネットワーク・一般的なP2P アプリケーション・Web プロトコルと電子メールプロトコル		
31～33	1 1. 15章_アプリケーション層 (2)	・ハイパーテキスト転送プロトコルとハイパーテキストマークアップ言語・HTTP とHTTPS・電子メール プロトコル・SMTP、POP、IMAP・IP アドレッシング サービス・ドメイン ネーム サービス・DNS 階層・DHCP プロトコル		
34～36	1 2. 16章_ネットワークセキュリティの基礎 (1)	・セキュリティの脅威と脆弱性・脅威のタイプ・脆弱性の種類・理的なセキュリティ・ネットワーク攻撃・マルウェアの種類・偵察攻撃・アクセス攻撃・サービス妨害攻撃・多層防御アプローチ・バックアップを保持		
37～39	1 3. 16章_ネットワークセキュリティの基礎 (2)	・アップグレード、更新、パッチ・認証、許可、アカウントティング・ファイアウォールの種類・エンドポイントセキュリティ・追加のパスワードセキュリティ・SSH の有効化・使用していないサービスの無効化		
40～42	1 4. 17章_小規模ネットワークの構築 (1)	・小規模ネットワークトポロジ・小規模ネットワークのデバイスの選択・小規模ネットワークの IP アドレッシング・小規模ネットワークでの冗長性・トラフィック管理・一般に使用されるプロトコル・音声およびビデオアプリケーション・大規模なネットワークへの拡張・プロトコル分析・従業員のネットワーク使用率・ping を使用した接続の確認・拡張 ping・traceroute の拡張・ネットワーク ベースライン		
43～45	1 5. 17章_小規模ネットワークの構築 (2)	・LinuxホストでのIP構成・一般的な show コマンドの再表示・debug コマンド・デバッグの動作とミスマッチの問題・IOS デバイスの IP アドレス問題・エンド デバイスの IP アドレス問題・デフォルト ゲートウェイの問題・DNS 問題のトラブルシューティング		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・Web教材: Introduction to Networks		ノート提出 課題 オンラインテスト	40.0% 30.0% 30.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、各回の内容に対応しているテキスト、配布資料の箇所を見ておくこと。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
モバイルアプリケーションⅡ		情報システム学科／2年	2023／後期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	平松 謙治
授 業 の 概 要				
Androidアプリでの開発を通して、システムの設計からプログラミング、テスト、公開までの一連の流れを学習します。				
授業終了時の到達目標				
Androidアプリの開発ができるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有り	【実務経験】入江 謙治：SEとして33年の勤務経験 これまでの開発実践を活かし学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する。				
回	テ ー マ	内 容		
1～2	インテントによる画面遷移	・インテントによる画面遷移ついて理解を深めます。 ・画面の作成・ビューの整列・インテントによる画面遷移・実践でのプログラミングテクニック		
3～4	入力画面の作成	・入力画面のボタン配置ついて理解を深めます。 ・保存処理の実装・画面の作成・実践でのプログラミングテクニック		
5～6	フラグメント	・フラグメントのライフサイクルついて理解を深めます。 ・フラグメントの作成・スワイプしてビューを切り替える仕組み・実践でのプログラミングテクニック		
7～8	タイマー処理	・タイマー処理、サウンドの再生ついて理解を深めます。		
9～10	AndroidとHTML	・AndroidとHTMLの連携について理解を深めます。 ・実機、エミュレータ両方でテストを行うことができる。一人でデバッグを行い問題解決できる。		
11～12	ダイアログ	・アラーム処理とダイアログについて理解を深めます。 ・アラートダイアログ・日付と時刻を選択する・実践でのプログラミングテクニック		
13	データベースとSQL	・データベースアプリケーションとSQLについて理解を深めます。 ・Realmの導入・データベースを取得する・データベースへの登録・実践でのプログラミングテクニック		
14	Androidプログラミング課題制作プログラミング	・設計からテストまで開発を行います。 ・実践でのプログラミングテクニック		
15	Androidプログラミング課題制作テストと提出	・設計からテストまで開発を行います。 ・実践でのプログラミングテクニック ・エラーに対する解決方法		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
はじめてのAndroidプログラミング 第4版		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、 各回の内容に対応している テキスト、配布資料の箇所を見ておくこと。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
AWSクラウド演習		情報システム学科／2年	2023／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90	23	3単位（46時間）	必須	新川 弘哲
授 業 の 概 要				
AWSが提供するクラウドテクノロジーについて、何ができるのか、どれくらいのコストが掛かるのか、実際にサービスのビルドを通してクラウド全般の基本的な知識を習得します。				
授業終了時の到達目標				
AWSクラウドプラクティショナー試験の合格。AWSを利用してどのようなサービスを実装することができるかを説明できる。				
実務経験有無	実務経験内容			
無し				
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テ ー マ	内 容		
1～2	クラウドのコンセプト クラウドエコノミクスと請求	AWSの主要サービスについて、クラウドのコストモデルについて		
3～4	AWSグローバルインフラストラクチャーの概要 クラウドのセキュリティ	クラウドのセキュリティ、Well-Architected Frameworkについて		
5～6	ネットワークとコンテンツ配信 コンピューティング	Amazon EC2, AWS Elastic Beans Talkについて		
7～8	ストレージ データベース	DynamoDB, Amazon Auroraについて		
9～10	クラウドアーキテクチャ 自動スケーリングとモニタリング	Auto Scalingについて		
16～17	Machine Learning Foundationsへようこそ 機械学習の紹介 Amazon SageMaketを使用した機械学習パイプラインの実装（1）	機械学習の知識を必要とする様々な役割について 機械学習のツールについて		
18～20	Amazon SageMakerを使用した機械学習パイプラインの実装（2）	AmazonSageMakerの操作方法		
21～22	予測の導入 コンピュータビジョンの導入	時系列データを処理について Amazon Forecastを使用する。		
23	自然言語処理の導入	自然言語処理（NLP）の概要		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
AWSが提供するオンライン教材		出席点 課題 確認テスト	20.0% 30.0% 50.0%	【事前学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて専門用語を予習する。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
Webフレームワーク演習		情報システム学科／3年	2023／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	平松 謙治
授 業 の 概 要				
システム開発手法を要求定義から行うことで、体系的に開発手法を経験を通して学ぶ。顧客を想定したプレゼンテーションの手法を学ぶ。グループによるソフトウェア開発				
授業終了時の到達目標				
チーム開発を通して、システムの開発手法を身に付ける。プレゼンテーションの技法を身に付ける。グループ作業を通して、協調性やリーダーシップを身に付ける。				
実務経験有無		実務経験内容		
有り		【実務経験】平松 謙治：SEとして33年の勤務経験 これまでの開発実践を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
次の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テ ー マ		内 容	
1～2	グループ分け		・ 内容説明とスケジュールの説明、グループ分け。	
3～4	開発テーマの選定		・ 開発するシステムのテーマを検討します。	
5～6	要件定義		・ 要件定義の工程を行います。	
7～8	要件定義		・ 要件定義の工程を行います。	
9～10	外部設計		・ 外部設計の工程を行います。	
11～12	外部設計		・ 外部設計の工程を行います。	
13～14	内部設計		・ 内部設計の工程を行います。	
15～16	内部設計		・ 内部設計の工程を行います。	
17～18	詳細設計		・ 詳細設計の工程を行います。	
19～20	プログラミング		・ プログラミングの工程を行います。	
21～22	プログラミング		・ プログラミングの工程を行います。	
23～24	プログラミング		・ プログラミングの工程を行います。	
25～26	プログラミング		・ プログラミングの工程を行います。	
27～28	プログラミング		・ プログラミングの工程を行います。	
29～30	プレゼンテーション練習		・ プレゼンテーション練習・発表・成果物の整理を行います。	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
スッキリわかるサーブレット&JSP入門、Eclipseで学ぶはじめてのサーブレット&JSP、EclipseではじめるJavaフレームワーク入門—クラウド開発対応		課題・レポート 実習・実技評価 確認テスト	30.0% 40.0% 30.0%	【事前学習】 世の中でリリースされている様々なアプリを調査し、自分がどんなシステムを作りたいかを考えておくこと。

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
アジャイル開発演習Ⅱ		情報システム学科／2年	2023／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（15時間）	必須	平松 謙治
授 業 の 概 要				
Java サブレットを用いたWebアプリケーションの開発手法を講義。				
授業終了時の到達目標				
Java サブレットを用いたWebアプリケーションの開発手法を身に付ける。卒業制作へ繋げる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有り	【実務経験】平松 謙治：SEとして33年の勤務経験 これまでの開発実践を活かし学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テ ー マ	内 容		
1	イントロダクション	【内容】（詳細） ・サーバサイドJavaの概要について理解を深めます。 【今回の目標】 ・静的なページと動的なページの違いを理解できる。JSPとサブレットの使い分けの場面を判断することができる。 【今回の重要用語キーワード】 ・サーバサイドJava, JSP, サブレット, Webアプリケーション 【今回の学習内容の記載内容】 ＜情報提示＞ ・実践におけるサブレット、JSPの活用事例等 ＜学習活動＞ ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 ＜フォードバックの方法＞ ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 ＜評価・まとめ＞ ・コードの実行結果を確認する。 【授業へのアドバイス】 ・JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。		
2	開発環境の準備	【内容】（詳細） ・開発環境の準備を行います。 【今回の目標】 ・自身のマシンにJDK, Tomcat, MySQL, Eclipseをインストールし、開発できる環境を整える。 【今回の重要用語キーワード】 ・JDK, Tomcat, MySQL, Eclipse 【今回の学習内容の記載内容】 ＜情報提示＞ ・今回利用する以外の開発ツール群、実行環境について ＜学習活動＞ ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 ＜フォードバックの方法＞ ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 ＜評価・まとめ＞ ・コードの実行結果を確認する。 【授業へのアドバイス】 ・JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。		

3	JSPの基本	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSPの基本を理解します。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSPページの構造、拡張子、基本構文について理解できる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディレクティブ <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。
4	JSPの基本	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSPの基本を理解します。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSPページの構造、基本構文について理解できる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクションタグ、スクリプティング要素、コメント <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。
5	リクエスト情報	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リクエスト情報を理解します。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通信の確立から、クエリ情報の取得をするプログラムが作成できる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HTTP, ポストデータ <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。

6	リクエスト情報	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リクエスト情報を理解します。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信の確立から、ヘッダ情報の取得、リクエストパスの取得をするプログラムが作成できる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HTTP, クエリ情報、リクエストパス <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。
7	データベース連携	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースの基本とデータベース管理ツールを利用したアクセスについて理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザ上からMySQLの管理ツールにアクセスし、利用できる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MySQL, DBA, JDBC <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。
8	データベース連携	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JDBCを利用したデータベースアクセスについて理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JDBCを経由してデータベースにアクセスできる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JDBC, SQL, SELECT, トランザクション <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。

9	JSTL (JSP Standard Tag Library)	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSTLについて理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSTLを利用して、ページを作成できる <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSTL, 式言語、暗黙オブジェクト、演算子, Coreタグライブラリ <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。
10	JSTL (JSP Standard Tag Library)	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSTLについて理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSTLを利用して、ページを作成できる <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スコープ変数、Databaseタグライブラリ, i18nタグライブラリ <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。
11	サーブレット	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サーブレットについて理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サーブレットを利用して、ページを作成できる <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ javaサーブレット, doGet, doPost <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。

12	サーブレット&JavaBeans	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーブレットについて理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーブレットを利用して、ページを作成できる <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーブレットのライフサイクル <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。
13	サーブレット&JavaBeans	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーブレットおよび、javaBeansについて理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーブレットとjavaBeansを利用して、ページを作成できる <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・javaBeans <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。
14	JSP&サーブレットで利用可能なライブラリ	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部ライブラリの活用について理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部ライブラリを利用して、ページを作成できる <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・jarファイル、クラスローダー、電子メール送信、Ajax、PDF <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でにおけるJSP、サーブレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。

15	総合演習	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none">・今まで学んだことを利用した演習を行います。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none">・提示された仕様のシステムを一人で作成することができる <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none">・warファイル, デプロイ <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none">・実践でにおけるJSP、サープレットの利用方法 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none">・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none">・コンパイルエラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none">・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none">・JSPはHTMLとJavaのコードを織り交ぜて書いていきますので、今何の言語でコーディングしているかということを意識しながらプログラミングするようにしましょう。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
独習Javaサーバサイド編 第2版		出席点	20.0%	
		演習	50.0%	
		期末課題	30.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
Webアプリケーション演習Ⅱ		情報システム学科／2年	2023／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	高橋 忍
授 業 の 概 要				
PHPによるプログラミングを勉強する				
授業終了時の到達目標				
PHPによるプログラミングの習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ソフトウェア開発会社でシステム開発に5年間従事		
時間外に必要な学修				
授業内で理解できなかったところは、次回までに理解を進める事。				
回	テ ー マ		内 容	
1～3	PHPの開発環境		【内容】（詳細） ・ PHPの開発環境の準備を行います。 【今回の目標】 ・ 自分のマシンでPHPの開発を行える環境を構築することがができる。 【今回の重要用語キーワード】 ・ PHP, IDE, MySQL 【今回の学習内容の記載内容】 <情報提示> ・ IDEを利用した開発環境 <学習活動> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <フオードバックの方法> ・ エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <評価・まとめ> ・ コードの実行結果を確認する。 【授業へのアドバイス】 ・ 文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。	
4～6	PHPの基礎		【内容】（詳細） ・ PHPの基本文法の理解を深めます。 【今回の目標】 ・ PHPの基本文法を理解し、プログラムを作成することがができる。 【今回の重要用語キーワード】 ・ 変数、定数、連想配列、演算子、 if, switch, while, for, foreach, continue, break 【今回の学習内容の記載内容】 <情報提示> ・ 実践でのプログラミングテクニック <学習活動> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <フオードバックの方法> ・ エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <評価・まとめ> ・ コードの実行結果を確認する。 【授業へのアドバイス】 ・ 文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。	

7~9	PHPの組み込み関数	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PHPの組み込み関数の理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PHPの組み込みを理解し、プログラムの中で活用することがができる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字列操作、配列操作、日付・時刻の利用、ファイル操作、HTTPヘッダ操作、メール送信、正規表現 <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。
10~12	WebでのPHP	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PHPを埋め込んだWebページ制作の理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PHPを埋め込んだWebページを制作することがができる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GET, POST, hidden, クッキー, セッション, ファイルアップロード, メール受信 <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。
13~15	クラスとオブジェクト	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PHPのクラスとオブジェクトの理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラスとオブジェクトの考え方を理解し、プログラムの中で利用することがができる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラス、インスタンス、コンストラクタ、メソッド、継承、トレイト、Iterator <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。

16～18	データベースの準備	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MySQLデータベースの概要の説明と実習で利用するための準備を行います。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のマシンでMySQLを利用することができる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベース接続, ユーザーアカウント, 権限, ロール <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。
19～21	データ操作の基本	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MySQLでテーブルの作成、データの追加・変更・削除、検索の方法について理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SQLを使って自由にデータをコントロールできる <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CREATE TABLE, INSERT INTO, SELECT, UPDATE, DELETE <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。
22～24	PHPからデータベースを操作する	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PHPからMySQLに接続し、データベースにアクセスする方法について理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PHPのコードを経由して自由にデータをコントロールできる <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PDO <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。

25～27	PHPとMySQLで作る会員管理システム 基本機能	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員管理システムの制作を通してPHPプログラミングについて理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト中の基本機能の部分を完成させることができる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力チェック、Smarty <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。
28～30	PHPとMySQLで作る会員管理システム 管理機能	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員管理システムの制作を通してPHPプログラミングについて理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト中の管理機能の部分を完成させることができる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CRUD <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。
31～33	データベースの運用	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MySQLでのデータベース管理について理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックアップ等のデータベース管理を行うことができる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MySQLコマンドツール、ログ、バックアップ、リストア <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。

34～36	PHPの応用	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部サービスとの連携、成果物のデプロイについて理解を深めます。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品情報を取得できる。位置情報を取得できる。外部サーバーに制作したページを配備することができる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPS, レンタルサーバー <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。
37～39	PHPプログラミング課題制作設計	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計からテストまでチームで開発を行います。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームで基本設計を完了することができる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーターフォールモデル <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。
40～42	PHPプログラミング課題制作プログラミング	<p>【内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計からテストまでチームで開発を行います。 <p>【今回の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームで効率的に分担し、プログラミングを完了することができる。 <p>【今回の重要用語キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GitHub <p>【今回の学習内容の記載内容】</p> <p><情報提示></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践でのプログラミングテクニック <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <p><フォードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの実行結果を確認する。 <p>【授業へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。

43～45	PHPプログラミング課題制作 テスト、成果発表	【内容】（詳細） ・設計からテストまでチームで開発を行います。 【今回の目標】 ・チームでテストを行い、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。 【今回の重要用語キーワード】 ・テストツール、プレゼンテーション 【今回の学習内容の記載内容】 <情報提示> ・実践でのプログラミングテクニック <学習活動> ・実機上で、テキストのコードを入力し、実行する。 <フォードバックの方法> ・エラーに対する解決方法、実行結果について解説を行う。 <評価・まとめ> ・コードの実行結果を確認する。 【授業へのアドバイス】 ・文法エラーを自分自身で解決できることはもちろん、論理的なエラーも解決できるよう、ロジックを注意深く見ながらコードを書くようにしましょう。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
PHP+MySQL マスターブック		課題・レポート 出席率	80.0% 20.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅰ		情報システム学科／2年	2023／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	23回	2単位（46時間）	必須	新川 弘哲
授 業 の 概 要				
就職活動を始める準備を行う。自己分析を行い、「仕事とは何か」「キャリアとは何か」を自分に問い希望職種を考えていく。また、自己PR、趣味・特技を考え、履歴書を完成させ、面接の練習を行う。				
授業終了時の到達目標				
履歴書を完成させる。個人面接で受け答えができるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
無し				
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テ ー マ	内 容		
1～2	就職活動のアプローチ	・「仕事とは何か」「キャリアとは何か」を考える。		
3～4	自己分析	・自己分析をしっかりと行い、自己PR作成の材料集めを行う。また、自己分析を行うことで、面接の受け答え時に必要なPRポイントを探し出すことにつながる。		
5～6	企業を知ろう	・自分の希望に合った進路・キャリアを切り開くためには、企業研究が欠かせません。志望する業界がどうなっているのかを調べていきます。		
7～8	就職活動に必要な書類の書き方	・就職活動に必要な書類の書き方について学ぶ。就職活動の流れと書類の書き方の確認を行います。		
9～10	自己PRを作成 1	・履歴書に記入する自己PRを考えてもらいます。履歴書に記入する際の注意点についても解説します。		
11～12	自己PRの作成 2	・400文字程度の自己PRを作成します。面接では、1分程度の自己PRが求められます。PRするポイントとその根拠をまとめていきます。		
13	「学校生活」「趣味・特技」を考える。	・履歴書の「学校生活」「趣味・特技」欄の内容を考えます。いくつか候補を考え、その中で、PRできるものを選択します。		
14	履歴書を書く	・履歴書を下書き記入します。履歴書は、就職活動において、自分の分身となります。丁寧にしっかり書くことを身につけて行きます。		
15	作文・小論文の対策	・採用試験で、行われる作文試験、論文試験対策を行います。設定した時間で、決められた原稿用紙に記入する力を養います。		
16	面接の準備 面接の受け答え 1	・面接での受け答えの仕方についてポイントを説明します。話の組み立て方やアピールの仕方の基本を抑える。		
17	面接の準備 面接の受け答え 2	・想定問答から、採用担当者の質問の意図と回答例や、面接時のマナーを学ぶ。		
18	面接の入退室練習	・面接時の入退室の練習を行います。ドアの開閉から、お辞儀、椅子へ座るときの足の運び方を反復練習を行うことで身につけます。		
19	集団面接練習	・集団面接練習を行います。集団の場合の入退室の動作を練習します。自己PRを述べてもらいます。		
20	面接練習 1	・個人面接の練習を行います。自己PRや履歴書の内容の受け答えを中心に行っていきます。入退室の動作がまだ、不十分な学生は、反復練習を行います。		
21	個人面接 2	・個人面接の練習を行います。コンピテンシーに基づいた質問を行い、受け答えの内容を採点します。実際の就職面接を想定した面接を行います。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
専門学校生のための就職内定基本テキスト		履歴書 課題	60.0% 40.0%	【事前学習】 自分自身がどんな業種・職種で働きたいのか、地元で働きたいか県外に働きたいかを考えておくこと。